



高3の新学期から東大合格を目指し猛勉強を始めた私です。ただ、母校・六日町高校は地域の中堅進学校とは言え4年制大学への進学率は30%程度。東大には5年か10年に一人合格しているらしいのですが、現役合格はないとの事です。その様な典型的な地方高であり、当時はインターネットもなく、いかんせん受験情報がありません。何をどう勉強していいかも暗中模索で、学校の教科書と授業で使う問題集にひたすら取り組んでいました。

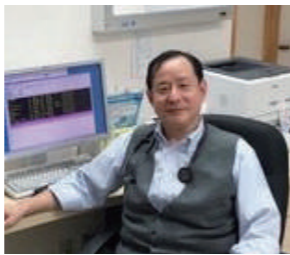
夏休みに差し掛かる頃、書店で手に取ったのが「私の東大合格作戦」という東大合格者の体験記です。読んで驚いたのが、超有名進学校や地方トップ進学校の生徒まで、体験者の殆どが科目ごとに同じ参考書や問題集を使っている事でした。私は「これで同じ土台で勝負できる」と大喜び。ただ、これらの参考書は殆ど地元の書店にはおいてなく、お取り寄せとなりました。夏休みは勉強時間目標を1週間100時間とし、クーラーもない自室に閉じこもったのです。

当時は共通1次試験の時代。1000点満点中、東大法学部のボーダーライン(合格の目安)は大体900点。先の「東大合格作戦」によると多くの合格者は2年生修了時に800点近くを取っているようです。私は3年の6月で500点台。いかにこの挑戦

### ◆ 後援会からのエール ◆



黒岩家族・両親・瀬賀氏(右端)



村上・岩船郡後援会顧問 瀬賀弘行氏(瀬賀医院院長)

黒岩たかひろさんは、すでに大きな仕事を、いくつもなさってきました。横暴な安倍政権を突き崩してくれたときには、皆様ともども、まことに胸のすく思いでした。しかし岸田政権になってからも、問題は次々に生まれてきています。ここは何としても、黒岩さんに登場願わなければなりません。黒岩さんがお持ちの倫理観、民主主義に対する敬意が、国政を変えてくれることを渴望するものです。

が険しいか、お分かり頂けるでしょう。そんな状態でしたから、2学期からは昼休みや放課後も自習室に移動すらせず、教室内で無言で勉強。放課後の清掃時、ほこりが激しく舞う中、私の机だけ前後にも動かさず、全くもって迷惑な存在でした。

夏以降、駿台予備校の東大模試を東京で3回受けました。8月は成績も悪く、合格判定のランクは出ず。11月にランクD(可能性40%)、12月ランクC(50%)と猛勉強効果が表れてきました。1月下旬、迎えた共通1次テスト本番。何とか870点台。その年の共通1次は極端に難しく、東大法学部のボーダーラインも870点台に下がったのでまずまずの結果でした。

さて、3月に迎える東大二次試験。(次号に続きます。)

### 「黒岩たかひろ応援団」に是非ご入会を!

「黒岩たかひろ応援団」は黒岩たかひろの更なる飛躍を期し、会員一人ひとりがその政治活動をサポートすることを目的としております。皆様から頂いた会費は、会報の発行を含む政治活動に活用させていただきます。また、応援団ご入会の方には優先的に地域で行われる集会、座談会のご案内をさせていただきます。今後、より充実した活動を行うためにも多くの方のご入会をお待ちしております。

【年会費】 年額1口5,000円より  
 【お振込先】 郵便局：口座番号 00550-4-74787 口座名「黒岩宇洋と歩む会」  
 銀行：第四北越銀行 新発田中央支店 口座番号(普) 2104899 口座名「黒岩たかひろと歩む会」

会費納入にあたっての注意事項 1. 外国人からの政治活動に関する寄付を受け取る事はできません。  
 2. 本人以外の名義または匿名により政治活動に関する寄付をすることはできません。

### プロフィール

- ・昭和41年10月13日生まれ
- ・妻、長女、長男と新発田市在住
- ・東京大学法学部中退
- ・衆議院3期(2009年'14年'17年)
- ・参議院1期(2002年)
- ・元法務大臣政務官



## 第26号

2023年1月31日発行



12月27日、立憲民主党新潟県連、新区割り会見

新たな年を迎え、寒中お見舞い申し上げます。本年も何卒、ご支援のほど宜しくお願い致します。さて、昨年は政治の世界は大混乱の1年でした。参院選中の安倍元総理の銃撃事件に端を発し、旧統一教会(「世界平和統一家庭連合」)、「政通信」内では「旧統一教会」と表記された政治の関わりが明らかとなり、その後の国葬に激しい世論の反発など、その政治と宗教、政治と内心の自由という憲法の根幹を揺るがすような動きも引き起こされたのです。揺るがし、岸田政権の体面を奪い、信頼を揺るがすような動きも引き起こされた。金減少という国内ではインフレ・円安・実質賃金減少から対立・極東アジアの緊張といった戦争から安全保障の悪化に到底対応できぬのも無理からぬことでしょう。

そんな中、衆院選挙区「10増10減」を受け、昨12月28日に新潟県内の新区割り(旧秋葉区(旧新津市・小須戸町)と北区の一部(旧豊栄市以外)が加わり、野党支持層の厚い地域。今後の都市部で、野党支持層の厚い地域。今後の支持拡大に全力を傾ける所存です。

今年5月の広島サミット後から必ずや解風が吹き荒れる年です。与党自民党にとつて権力争いを国民に信を問う手段ではなく、党内の権力争いを勝ち抜く為の手段。動機はよこしまでも伝家の宝刀を抜くのならしめたもの。国政に復帰させて頂きます。その為にも皆様からのより一層の叱咤激励をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

前衆議院議員 黒岩宇洋 たかひろ

秋葉区・北区が追加  
 新たな区割りで  
 心機一転

立憲民主 RIKKEN MINSHU  
 新潟3区版  
 立憲民主党 立憲民主編集部  
 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1  
 三宅ビル7F  
 Tel.03-3595-9988  
 Fax.03-3595-9088  
 編集 新潟3区総支部 黒岩宇洋事務所  
 〒957-0053 新発田市中央町2-4-21  
 Tel.0254-21-0700  
 Fax.0254-21-0707

# 旧統一教会問題

## - 自民党の矛盾点 -

### 1. 反日思想と国家観

旧統一教会は韓国をアダム国、日本をエバ国とし、エバ国はアダム国に貢ぐべき、というのが根本思想。よって戦後補償を求めるだけでなく、日本人から多額の献金を集め、韓国に送金させてきた。この思想がいかに自民党の保守思想と相容れないかについては広く報道され、ご存知の通りである。

更に旧統一教会は国家そのものを否定する。国家を自らの秩序の外側、即ちサタン（悪魔側）とみなし、自身側（自らの秩序）に復帰させる（取り込む）事を教義としている。選挙において政策協定書を結ぶという事は、少なくとも相手団体との根本的方向性の一致を認める事に他ならない。旧統一教会と「推薦確認書（=政策協定書）」を交わした自民党議員は目先の票の為なら、自らの政治信条はおろか国家・国民を教団に売り渡すような姿勢を平然と示したという事となる。

### 2. 外国からの政治介入

旧統一教会と政治との関係は「政治と宗教」という問題のみならず「政治と外国」という問題も内在する。我が国は法律で外国人及び外国企業からの政治献金など、外国からの政治介入を禁じている。日本の旧統一教会はあくまでも日本支部であり、韓国本部に多額の資金を送金させられ、韓国本部の指示系統の内側にある。この点からも実質的に外国からの政治介入を受けたのではないか、という疑問が生じる。

### 3. 防衛増税における矛盾

防衛増税議論がかまびすしいが、自民党保守派は防衛費増額の根拠に北朝鮮の脅威を挙げる。一方、専門家によれば過去日本人が旧統一教会に行なった献金の

内 4500 億円が北朝鮮に送られ、核やミサイル開発に流用されたとの事である。自民党保守派は旧統一教会と結託し、献金集めの広告塔を任じておきながら、その献金を元手とした脅威に対抗する為、国民から税金を巻き上げようとはもはや笑い話にもならない。



文鮮明元総裁と韓鶴子総裁

## - 齋藤洋明衆議員に問う -

私と新潟 3 区で対戦してきた齋藤洋明衆議院議員が旧統一教会と余りにも深い関係である事が全国メディアで報道された。その内容は①自民党調査で衆議院議員の中でただ一人選挙における「『組織的』支援」を受けていた②選挙において「推薦確認書」に署名した 4 名の国会議員の内、真っ先に名前が挙がった、というものである。ここで齋藤氏に問いたい。

### 1. 他人の被害を踏み台か

齋藤氏はメディアのインタビューに、家庭連合が旧統一教会である事を認識した上で「前回選挙で僅差だったので当選の為に支援を要請した」旨を述べている。政治は『利他』であるべきもの。甚大なる第三者被害をもたらす可能性がありながら、自分の票の為には広告塔になる事をためらわぬ。このような利己的思考は、政治家として最もあるまじきものではないのか。

## 2. 元文科省官僚の妻について

齋藤氏の妻は文科省の元官僚である。宗教法人にとって文科省は、解散請求の権限を握る所管官庁。よって教団にとって元文科省官僚を妻に持つ齋藤氏は国会議員の中でも特別の存在と言える。また妻の存在そのものも、教団の正当性をアピールする上で、大きなお墨付きになると考えるのも道理。旧統一教会に国会と行政という2つの公権力を利用させたことは有権者に対する二重の背信行為ではないのか。



自民 齋藤洋明衆院議員 旧統一教会関連団体の推薦確認書に署名

## 新区割り

新たに新3区に加わった新潟市秋葉区（旧新津市・旧小須戸町）および北区の一部（旧豊栄市を除く）を地図でお示しします。新3区の皆さんに新たな選挙区をご認識頂くと共に、旧3区の皆様からも新3区の皆様にご支援の輪を広げて頂きたく、宜しくお願い申し上げます。



# 春の県議選

4 月には 4 年に一度の統一地方選挙が控えます。ここでは 3 区県議選のうち、4 つの選挙区について紹介します。

新発田市・北蒲選挙区では黒岩後援会幹事長を務める佐藤ひろお県議会議員（6 期）が勇退し、私の秘書を務めた新人の小林誠市議会議員にバトンが託されます。代替わりによって若い支持層を選挙区の中心地で拡大し、国政復帰への大きなエネルギーを創り出します。

村上市・岩船選挙区では黒岩村上・岩船後援会顧問の片野猛県議会議員（5 期）を支援致します。今後、片野さんへの野党勢力の結集を図り、元自民党市議会議員であった片野さんの自民支持層も含め、村上・岩船での支持を拡げていきます。

新潟市北区選挙区では黒岩北区後援会事務局長を務める新人の長谷川優さんを打ち立てます。北区は新選挙区でもありますので長谷川さんの勝利をつかみ、支持基盤の安定・拡大に努めて参ります。

新潟市秋葉区選挙区では小島晋県議会議員を応援致します。秋葉区も新選挙区であり、小島さんとの連携で地域への浸透を図って行きたいと思えます。

皆様、統一地方選にも大いにご注目頂きますよう、宜しくお願いします。



12月23日 県庁記者会見室にて 佐藤県議・黒岩・小林市議